

令和元年 10 月 11 日

各 位

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 アクアフィールド科学分野 教授候補者選考委員会
委員長 平松 和昭

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 アクアフィールド科学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座 アクアフィールド科学分野教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数
教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース、および農学部生物資源環境学科 動物生産科学コース 水産科学分野担当教員となります。

当該職が担当するアクアフィールド科学分野は、家畜生体機構学分野、動物繁殖生理学分野、畜産化学分野、代謝・行動制御学分野、家畜生産生態学分野、海洋生物学分野、水産増殖学分野、水産生物環境学分野とともに動物・海洋生物科学講座を構成しています。当該講座は、陸圏と水圏における良質な動物性タンパク質の持続的安定供給ならびに動物資源生存環境の保全を目的として、動物生産の基盤である生命現象の生理学的解明、動物体に含まれる機能性物質の探索と健康科学への応用、環境と調和し生態系に配慮した動物生産システムの構築、多様な動物資源の生存環境保全と高度利用を支える植物基盤の整備等、動物資源の生産環境生命科学に関する諸問題を多様な視点から解明するための教育研究を推進することを目指しています。

当該部門、当該講座の目的を実現するにあたっては、水産生物資源の再生産機構の解明を通して、その持続的安定的供給に関すること、特に、環境調和型動物生産システムの構築ならびに多様な資源動物の生存環境の保全と整備に関する教育研究が不可欠です。その中でも、

- 1) 水圏生態系の構造・機能劣化の原因究明とその解決に向けた学際的研究の展開
- 2) 水圏生物の生態・生活史の解明およびそれらの実用的保全技術の開発

3) 水産生物の持続的利用を可能とする水圏環境の修復技術の開発とその実践等の領域における教育研究を推進することがとりわけ重要です。またこれらの領域の教育研究に対する社会的な要求も大きいものです。

本選考委員会では、上記の研究領域における優れた研究業績を有し、先進的な教育研究を推進可能で、九州大学大学院生物資源環境科学府附属水産実験所を管理運営しつつ、当該講座の将来構想の実現に大きく寄与しうる方を求めます。

3. 採用予定時期

令和2年4月1日以降の可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域1)～3)において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方。

5. 担当授業科目

(1) 大学院

・大学院修士課程

(資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース)

動物・水圏資源保全学(分担)、生殖生物学特論(分担)、水圏生物資源環境学特論(分担)、動物・海洋生物科学プロジェクト演習(分担)、動物・海洋生物科学演習第一(分担)、同第二(分担)、動物・海洋生物科学ティーチング演習(分担)、動物・海洋生物科学演習第二(分担)、インターシップ(分担)、国際交流演習(分担)、国際交流実践演習(分担)、動物・海洋生物科学特別研究第一(分担)、同第二(分担)等

(国際コース)

Advanced Animal and Marine Biosciences (分担)、Master's Thesis Research I (分担)、同 II (分担) 等

・大学院博士後期課程

(資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース)

動物・海洋生物科学特別実験(分担)、ティーチング演習(分担)、国際演習(分担)、インターンシップ(分担)、プロジェクト演習(分担)、国際交流演習(分担)、国際交流実践演習(分担)、動物・海洋生物科学特別講究(分担)、動物・海洋生物科学特別演習(分担)等

(国際コース)

Research Training on Animal and Marine Biosciences (分担)、Advanced Topics on Animal & Marine Biosciences (分担)、Tutorial on Animal and Marine Biosciences (分担) 等

(2) 学部

(動物生産科学コース 水産科学分野)

農学入門Ⅱ(分担)、動物生産科学概論(分担)、無脊椎動物学、動物行動生態学(分担)、飼料学(分担)、基礎生物学実験(分担)、アクアフィールド科学実習(分担)、科学英語(分担)、卒業研究(分担)等

(国際コース)

Special Lecture on Advanced Topics of Agriculture 4 等

(担当可能な基幹教育科目)

生態系の科学(分担)、水圏生態環境学入門(分担)、基幹教育セミナー、課題協学科目(分担)等

なお、英語による授業および研究指導も担当して頂きます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

I 原著論文(本人の氏名にアンダーライン、本人が責任著者の場合は*を付す)

(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁もしくはDOI、発行年)

Impact factorおよび被引用回数(database名)を書くことが望ましい。

(i) 査読付雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) その他で区分すること

II 著書(著者名、題名、発行所、頁、発行年)

III 総説・解説等(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年)

IV 特許(発明者名、発明の名称、特許番号もしくは特許出願番号、特許登録もしくは特許出願年月)

V 学会での受賞(受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会名、受賞年月)

VI 国際学会等招待講演(講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月)

VII 外部資金導入実績(名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別を記す)

VIII 教育実績(担当授業科目等)

IX その他(資格等)

(3) 主要論文の別刷りまたはその写し(5編)

(4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負(1,500字以内)

(5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負(1,500字以内)

教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負

(6) 上記(1)、(2)、(4)、(5)のWord形式の電子ファイルおよび(1)~(5)のPDF形式の電子ファイルを保存した光ディスクあるいはUSBフラッシュメモリ

(7) 推薦書

自薦の場合: 自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせできる方2名の氏名および連絡先

他薦の場合: 推薦書(1通)

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 勤務地

九州大学大学院生物資源環境科学府 附属水産実験所(福岡県福津市津屋崎 4-46-24)
授業等で伊都キャンパス(福岡市西区元岡 744)に行くことがあります。

9. 提出締切

令和元年11月29日(金)必着

1 0. 提出書類の送付先

〒819-0395

福岡市西区元岡 744

九州大学 大学院 農学研究院

環境農学部門 生産環境科学講座 水環境学研究分野

(アクアフィールド科学分野教授候補者選考委員会)

委員長 平松 和昭

電話：092-802-4615

E-mail：hiramatsu@bpes.kyushu-u.ac.jp

書類は、「応募書類在中」と朱書きの上、書留またはそれに準ずる送付記録が残る方法で提出のこと。

1 1. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）の精神に則り、教員の選考を行います。また、「障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度 (http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/file_upload/4._Kyushu_University_Guidelines_for_the_System_of_Employment_of_Faculty_Members_with.pdf) を導入しています。
- (3) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ (<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>) を参照してください。
- (4) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与等についての問い合わせ先：
九州大学農学部総務課庶務係（電話：092-802-4505）
なお、給与規定は下記をご参照ください。
<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/616/1/2004syuki014.pdf>